



To acknowledge the duty that accompanies every right"
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE OSAKA CENTENNIAL

C/O OSAKA YMCA
 1-5-6 TOSABORI, NISHIKU,
 OSAKA, JAPAN

2009年9月 No.328
 Chartered July 20, 1982

主 題 Y's THEME (2009~2010)	
センテニアルクラブ会長	: 『Onward Centennial, again』
東京セントラルクラブ会長	: 『一つとなって YMCAへ』
国際会長	: 『一つとなる力』
アジア会長	: 『夢みるアジア、愛するアジア』
西日本区理事	: 『すべてのいのちを大切に』
中西部部長	: 『元気はつらつ中西部』

クラブ役員	Officers
会長	: 山中 秀男
副会長	: 新保 正秋
書記	: 石津 雅人
会計	: 中村 幸枝
ネット会長	: 山中ちあき
Y連絡職員	: 鍛冶田 千文

Biblical Message of September

これらの小さな者を一人でも軽んじないように気をつけなさい。
 (マタイによる福音書18章10節)

知恵の言葉

石津 雅人

私は末日聖徒イエスキリスト教会(ニックネームはモルモン教会)の会員ですが、よく知られている末日聖徒の特色の一つにアルコール、たばこ、コーヒー、紅茶等を摂取しないという戒めがあります。これは『知恵の言葉』と呼ばれています。この戒めがどういう経緯で生まれることになったかですが、当時、主だった指導者たちはジョセフ・スミスの家で定期的な集まりをもっていました。ジョセフの妻エマは、集会の度に床があまりに汚れるので、いつも文句を言っていたようでした。なぜなら「男たちが集まってきて最初にするのはパイプに火をつけることで、それから煙を楽しむ一方、神の王国の偉大な事柄について話しながら部屋中にやたらツバを吐いた・・・」からです。そこでジョセフはこの問題について熟考し、『知恵の言葉』が示されたのだと当時の記録にあります。ジョセフはエマの不満をなんとか解決しようとして示したのですが、それほどの拘束力をもつことになるとは、ジョセフ自身も予想していなかったようです。こうして、ふとしたことから始まった慣習が、それを作りだした本人の意志とはかかわりなく一人歩きを始め、今では禁酒、禁煙、刺激物などをたしなまないことが絶対的規則であるかのように教えられ、また守られています。今日、それが末日聖徒のアイデンティティになってしまった感があります。しかし、このお陰で厳格に守っている末日聖徒は健康な状態で生活ができています。

September Club Meeting

『Menettes』

9月第1例会

日時: 2009年9月16日(水) 18:30~20:30

場所: ホテルグランヴィア大阪

司会: 坂本 千春 君

- | | |
|--------------------------|---------------------|
| 1. 開会点鐘 | 山中ちあきメネット 会長 |
| 2. ワイズソング | 一同 |
| 3. 聖句朗読(代読) | 松浦 和子 君 |
| 4. ゲスト・ビジター紹介 | 山中ちあきメネット 会長 |
| 5. 今月の強調活動 | 山中ちあきメネット 会長 |
| 6. 連絡・報告・ニュース | 各メンバー |
| 7. 晩 餐 | 一同 |
| 8. 卓話「デザインでビジネスをどう活かすか？」 | 三島 ちせ 君 |
| | (ティセ アート アートディレクター) |
| 9. お誕生祝い・ニコニコ献金 | 一同 |
| 10. YMCA の歌 | 一同 |
| 11. 閉会点鐘 | 山中ちあきメネット 会長 |

9月第2例会

日時: 2009年9月30日(水) 18:30~20:00

場所: 大阪YMCA土佐堀会館4F

9月お誕生日: 大村(8日)、藤原(14日)、新保(21日)の各メン

例会担当: 3班: 石津、隅田、谷川、中村隆、松浦の各メン、山村メネット

【クラブ統計 Statistics】

2009年8月	種 別	第1例会	第2例会	BFポイント	ニコニコ献金
在籍会員 17名	メ ン	13名	7名	8月 現金 0g 現切手 g 現金 円	8月: 20,400円 累計: 47,400円
例会出席 13名	メネット	7名	1名		
うちメーキャップ 0名	ビジター	0名	0名		
出席率 76.4%	ゲ ス ト	2名	0名		
	合 計	22名	8名		

この聖書の箇所は、「迷い出た羊」のたとえの有名な箇所です。そのあと「ある人が羊を百匹持っていて、その一匹が迷いでたとすれば、九十九匹を山に残しておいて、迷い出た一匹を探しに行かないだろうか」とイエスは問います。さらに、「もしそれを見ついたら、迷わずにいた九十九匹より、その一匹のことを喜ぶだろう」と続きます。

もちろん、圧倒的多数の九十九匹の存在は大切ですが、「そのように、これらの小さな者が一人でも滅びることは、あなたがたの天の父の御心ではない」と結んでいます。

大多数の中でややもすると軽んじられる小さな者の存在こそ大切であることを、私達に教えておられます。

聖句選 コメント：谷川有美子

8 月 第 1 例 会 報 告
(なかのしまクラブと合同納涼例会)

日時：2009年8月19日(水) 18:30～20:30

場所：ホテルグランヴィア大阪20階

「久しぶりの納涼例会、おおいに盛り上げましょう」と山中秀男会長の点鐘で始まった、なかのしまクラブとの合同例会は、48人が参加。聖句を高橋京子さん(なかのしまクラブ)が朗読。食膳感謝の祈りを山田孝彦さんが捧げた後、いよいよにぎやかな晩さん会。飲み物のワインは最初一杯だけで、後は自分でお金を払って調達。あちこちの卓でお酒も入り話に花が咲く……。



ビートルズナンバー熱唱の大野勉さん

メインプログラムは神戸ポートクラブの大野勉さんによるミニコンサート。中学1年生の時から大ファンという大野さんは、キーボードやギター、ハーモニカを駆使しながら、ビートルズのナンバーを熱唱。この曲は4人のメンバーの内誰が歌っているのが当てるといいうクイズに、思わず真剣に考える面々。なつかしい曲に口ずさみ、会場はしばし青春時代の余韻が漂いました。最後をしめくくる司会の坂本哲朗さんも「閉会点鐘」を「閉店」と思わず言ってしまうと会場も爆笑。終始和やかな会でした。

(中村茂高)

日時：2009年8月26日(水) 18:30～20:00

場所：大阪YMCA会館4階

出席者：石津、中村茂、藤原、松浦、三浦、山田、山中の各メン、山中メネット 8名

報告事項

1.8月第1例会反省(8/19)

- ・ファンドのマスク完売。59,000円の売り上げ。
 - ・ニコニコも20,400円でいつもより多かった。
 - ・ビートルズの演奏も、親睦交流の意味でもよかった。
- 2.表現コミュニケーションとの交流(8/26)
- ・生徒数は12人と少なかったが、よい交流ができた。

協議事項/今後の予定

10月例会(10/21)BF=担当/山田、新保=オルガニスト・安田哲也さん「祈りと音楽」

11月例会(11/17)活動ウエルネス=担当/大村、中村隆。

中西部会(9/26)高槻現代劇場=クラブ単位申込。9/10締切。

びわこ部会(10/4)近江八幡・近江兄弟社学園

9/15締切。事務局(安田・090・4569・3223、h-yasuda19451216@ezweb.ne.jp)

10/3～11/3 ヴォーリス展も開催。

国際大会2010年8/5～8、パシフィコ横浜。登録費55,000円(早期50,000円)

グループスケジュール管理=例会、イベントの出欠をインターネットでする方法を考案中。

ロースターの山中秀男・ちあき夫妻の電話番号訂正。

(誤)075・381・6747

(正)075・381・6764

(中村茂高)



開会の挨拶をする山中会長
例会会場風景



閉会点鐘をする藤井会長
(なかのしまクラブ)

表現コミュニケーション学科
「お茶会」交流会

Y M C A ニ ュ ー ス

昨年からはまりました「表現コミュニケーション学科」3年生とのお茶会の交流会を、8月26日(水)に実施しました。今年は、体調が悪い生徒さんや、旅行中の為、参加者が少なく、12名となりました。

山中会長からワイズについての説明に始まり、石津メンが作成したスライドを、会長が我々も知らなかったお茶の歴史や作法を懇切丁寧に説明されました。お茶のことをよく知っている生徒さんもおられ、また、何人かは、お茶会に参加した経験者もいました。

松浦メネットにお茶の立て方を実演していただき、生徒たちも見よう見まねでお茶をいただいていた。お茶会の間、山中メネット会長のお琴の演奏があり、生のお琴を聞いたことがない生徒もいて興味深げでした。短い時間でしたが、生徒たちと日本の伝統文化に触れることができ、今後とも、センテニアルの恒例行事として生徒たちとの交流を継続したいものです。

メネットさんのご協力ありがとうございました。

(大村 肇)



お茶会風景



早天祈祷会

日時 9月18日(金)7:30~8:30

キリスト教セミナー

日時 9月3日(木) 10月1日(木)

両日とも18:30~20:30

場所 大阪YMCA会館

講師:岡村 恒牧師(日本キリスト教団大阪教会)

対象:YMCAスタッフ・YMCAに関わる方々

費用:300円(堂島ロールつき・予定)

8月26日の登校日には、表コミ3年生に茶道体験をしていただき、ありがとうございました。

お抹茶もお琴も全部初めてだった生徒がほとんど。お茶の歴史も楽しく学ばせていただきました。夏休み最後の登校日と言うことで、欠席が多かったことが大変残念で申し訳なく思いました。日ごろの指導のいたるなさも感じました。それにしてもワイズの皆さんの多才さに感嘆です。感激と心から感謝をこめて……。

Tel.06(6441)1123 Fax...06(6443)7544

(鍛治田 千文)

<感想>

- ・いろいろなことを知れてよかったです。
- ・こんなに本格的なお茶を頂いたのは初めてで、ちょっと緊張したけど、お菓子もお茶もとてもおいしかったです。
- ・お茶、おいしかったです。
- ・茶道のことで、色々学べ本当によかった。
- ・お茶の歴史なども知ることができたのでよかったです。今まで飲んだことがなかったので、もっと苦いと思っていたのですが、おいしかったです。
- ・お茶がすごい苦かった。やまとなでしこには絶対なれないだろうって思った。
- ・おいしかった。
- ・細かなところまで教えてもらって勉強になりました。
- ・美味でした。
- ・今日はありがとうございました。とてもおいしかったです。

<これからのプログラムの要望>

- ・和菓子大会・ボードゲーム・将棋
- ・今日の洋菓子パージョン
- ・クラスのひとり一人が一つになれるような、明るく話ができる機会を作ってほしい。
- ・ゲーム(ピンゴなど)

Club Activities (August, 2009)

A total of 48 Y's men, Y's menettes and Y's men's guests attended the joint summer dinner of the 2 clubs - the Osaka Nakanoshima and the Osaka Centennial - held at the Hotel Granvia Osaka on August 19, 2009.

Mr.TETSURO SAKAMOTO of the Osaka Centennial club took the chair of the party. Mr.TAKAHIKO YAMADA of the Osaka Centennial said grace after the reading of the biblical message by Ms. KYOKO TAKAHASHI of the Osaka Nakanoshima. Mr. KAN TANIKAWA of the Osaka Centennial played toastmaster's role.

At the fellowship hour after the dinner, everyone enjoyed variety of the Beatles songs performed by Mr. TSUTOMU OHNO of the Kobe port club.

Ms. CHIHARU SAKAMOTO was successful in raising Yen 59,000, selling the masks for protecting against HINI influenza which is still prevailing throughout Japan.

Besides, Yen 20,400 was collected as the club's Niko-niko (smiling) fund.



ニコニコ・メッセージ



【Messages from the Club Members】

ゲストからのメッセージ

なかのしまクラブとセンテニアルクラブの合同例会に参加でき嬉しく思いました。特にホテルでの華やかな例会のたまにはセントラルもしないといけないと感じました。本日はありがとうございました。

(大阪セントラルクラブ 入江 保夫)

今夜は、なかのしま、センテニアル両クラブの方々とお会い出来、親睦を深められました。感謝です。これからもどうぞ宜しくお願いいたします。

(大阪セントラルクラブ 会長 宇都宮 垂穂)

会員からのメッセージ

なかのしまクラブとの合同の納涼例会楽しく過ごすことが出来ました。

(石津 雅人)

なかのしまクラブとの納涼例会とても楽しいいい時間が持てました。

(大村 肇)

たくさん的人数で楽しい例会でした。夏は懐かしい人たちと日替わりで会えて幸せでした。暑い中お盆の週に3回も着物を着た事が幸せです。

(鍛冶田 千文)

今日は合同で楽しい例会です。

(坂本 千春)

合同例会が行えた事に感謝です。

(坂本 哲朗)

華やかな中でおいしいお食事をいただきビートルズメロディを楽しみ最高の例会でした。大野さんの歌声に大きなパワーを頂きました。ありがとうございました。

(隅田 恵子)

今回もなごやかで楽しい例会を有り難うございました。

(田中 稷二)

合同例会、大変楽しい一時でした。来年もやりましょう。

(谷川 寛)

久しぶりの合同例会でなつかしい顔々にお会いし嬉しく思いました。また、来年もお会いしましょう!

(谷川 有美子)

スコーン完売です。ありがとうございました。

(中村 幸枝)

年1回の楽しい納涼例会。ワインも飲んでおおいに楽しませていただきました。

(中村 茂高)

賑やかな例会で活気が溢れてご同慶の至りです。今後とも一層頑張ってください!

(福永 嘉彦)

なかのしまとの合同例会、本当に楽しいひと時でした。でもとても淋しく残念なニュースも聞きました。オードリー・ギルグさんが米国に帰国されるとのこと。大変驚きました。でも人間誰しも生まれた故郷への望郷の念は自然な感情だと思います。ギルグさんの益々の御健祥を祈念しております。

(藤原 正巳)

今日は合同例会と言う事で大変賑やかな楽しい会でした。ビートルズの歌も楽しかったです。

(松浦 和子)

久しぶりのなかのしまクラブとの合同例会、会場も新しいところで堂々たるパーティの感じがしましたね。ゲストも名だたる人たち。なかのしまクラブの力が豊かになられて嬉しい思いです。

(松浦 孝次)

なかのしまクラブとの納涼例会、盛会で大変楽しかったです。神戸ポートの大野メンの演奏ありがとうございました。

(三浦 直之)

なかのしまとの合同例会はいつも賑やかで懐かしい顔(という訳か他のクラブのみなさんも)が多すぎて一人一人の方と交流できないのが残念です。

(山田 孝彦)

なかのしまクラブとの合同納涼例会大いに盛り上がり両クラブ担当の方に感謝です。神戸ポートクラブ山崎会長、ビートルズを演奏していただいた大野勉さん、青春を満喫しました。有り難うございました。(山中 秀男)

なかのしまさんと共に心浮き浮きの音楽、思わず足踏みしました。ありがとうございました。(山中 ちあき)

なかのしまの皆さんと一緒に楽しい例会でした。ありがとうございました。(山村 利子)



後記

映画「ポー川のひかり」を見て

イエス・キリストの風貌をもつ、将来を嘱望された大学教授が地位を捨てて川のほとりの廃屋に住むことから、周辺の住民との交流が生まれる映画「ポー川のひかり」。イタリアの巨匠エルマンノ・オルミ監督が最後の長編劇映画と銘打つ、渾身のイエス観を描いた作品です。

物語は、老いた守衛が図書館の鉄格子越しに悲惨な現場を目撃し絶叫する、「ダヴィンチ・コード」のダン・ブラウンばりのシーンから始まります。そこには死体ではなく、「百本の釘」に打ちつけられた本が散乱。それはイエスの磔刑を想像させる、教授の仕業です。

ポー川のほとりーこの地に違法に住む貧しい人たちに、男は次第にイエスのような存在になります。男は求められるままに聖書の話を読み、住民は男のために廃屋を改装します。貧しくともあたたかい思いやりの中で日々の生活を送る人たち。しかしやがて役人が村人たちに立ち退きを迫ります。助けを求められた男は嘆願書の書き方を教え、村人に代わって多額の罰金をクレジットカードで支払います。覚悟の上でしたが、そのことで足が付き、男は警察に捕まります。

地下牢で、男は恩師の司教と再会。「おまえは神を冒した」と激昂する司教に、「神は本を書かない」と反論する男。真理は本の中にこそあると信じる司教に対し、男は人々とのふれあいの中にこそ真理がある。「本より、友と飲む一杯のコーヒーの方がはるかに価値がある」と説く。

やがて男は釈放されます。「新しい服を着たキリストさんを土手で見たよ」。一人の少年のその言葉に、再会を待ちわびる村人たち。マグダラのマリアを想像させるゼリンドの顔がアップになり、再会を待つ喜びの顔がやがて悲しみに変わり、一筋の涙が流れます。その数分間の顔の表情は、村人の気持ちをよく表しています。

しかし男は二度とポー川のほとりに現れませんでした。

オルミ監督は、現代にキリストを置き、人生の豊かさは何かを私たちに問うたのではないのでしょうか。

セリフも少なく抑揚のないストーリーは、時に観る側に退屈を感じさせ、尻切れトンボのような形で突然終わってしまう内容に、少し拍子抜けするかもわかりませんが、しかしそれだけに現実観があり、後は「想像力にお任せ」と、オルミ監督は観客側のセンスを問うたのではないかと想像します。

(中村 茂高)